

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2025-37404  
(P2025-37404A)

(43)公開日

令和7年3月18日(2025.3.18)

(51)Int. Cl.

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

F I

A 6 1 F 9/007 2 0 0 Z

A 6 1 F 9/007 1 3 0 C

A 6 1 F 9/007 1 3 0 H

テーマコード(参考)

審査請求 未請求 請求項の数 15 O L (全 20 頁)

(21)出願番号 特願2023-144317(P2023-144317)

(22)出願日 令和5年9月6日(2023.9.6)

(71)出願人 598015084

学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号

(74)代理人 100145403

弁理士 山尾 憲人

(74)代理人 100131808

弁理士 柳橋 泰雄

(72)発明者 久富 智朗

福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
学校法人福岡大学内

(54)【発明の名称】眼科手術用トロッカー及び眼科手術用トロッカーを備えたトロッカーシステム

(57)【要約】 (修正有)

【課題】鉗子よりも大きな外形を有する手術用器具を確実に眼球内に挿入することが可能な眼科手術用トロッカー、及びトロッカーシステムを提供する。

【解決手段】先端側の中空の挿入部4と後端側の中空の本体部6とが繋がり、挿入部の先端開口から本体部の後端開口6Aまで内部空間が形成され、少なくとも挿入部が弾性を有するトロッカー2であって、刃先部22が先端開口から突出するようにナイフ20の刃先部を眼球の内部に差し込むと挿入部も刃先部に伴って眼球の内部に挿入され、ナイフのみを後端開口から抜き取ることにより、挿入部が眼球の中に位置し、本体部が眼球の外に位置する設置状態が形成される。刃先部が挿入部の中を通過可能であり、設置状態において、手術用器具を挿入部の中に挿入すると、挿入部が拡がり、手術用器具を後端開口から抜き取ると、広がっていた挿入部が元の形状に戻る。

【選択図】図5A

